

# けんけっちゃんからの



# お知らせ

献血にご協力をお願いいたします。

3月7日(月) 9:30-15:30

ワッツ・クレセントモール  
主催：岩槻ライオンズクラブ

埼玉県内では、毎日、医療機関からの輸血用血液の要請があります。その要請に応える為、献血ルームや移動採血バスで約 800 人のご協力が日々必要です。

みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



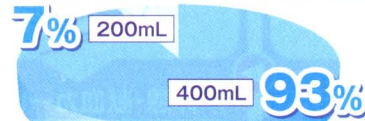
## 【服薬されている方のご協力について】

服薬されている方(花粉症、降圧薬等)のご協力については、以前よりお願いできる場合が増えております。ご来場される際、お薬の名前、種類を確認のうえ、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

## おねがい 400mL献血にご協力をお願いいたします

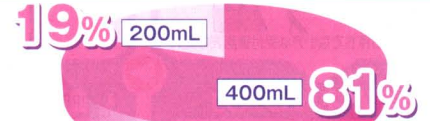
患者さんの副作用を軽減いたします。

医療機関からの要請比率



☆医療機関が希望する赤血球製剤の93%は400mL献血の血液です。

献血者数の現状比率



☆副作用の少ない400mL輸血を待つ患者さんのためにも400mL献血を多くに、皆様をお願いしなければなりません。

## おねがい 若い方の協力が重要です

### ■埼玉県 年代別献血者推移



## 献血の基準(抜粋)

○ 献血の際には、医師による問診を行ない、安心してご協力いただけます。

(平成23年4月1日施行)

	全血献血	
	200mL献血	400mL献血
1回献血量	200mL	400mL
年齢	16歳～69歳※	男性17歳～69歳※ 女性18歳～69歳※
体重	男性45kg以上・女性40kg以上	男女とも50kg以上
血色素量	男性12.5g/dL以上 女性12g/dL以上	男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上
年間献血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内
年間総献血量	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内 女性800mL以内	

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

## 献血の手順

### ① 受付



※献血カードをお持ちでない方は受付確認表の記入

### ② タッチパネルの入力



### ③ 問診・血圧測定



### ④ 血液濃度測定・血液型事前判定



### ⑤ 全血献血



### ⑥ 休憩・献血カードお渡し



## 献血いただく前に

※皆様からの貴重な献血ですが、次の項目に該当する方は献血をご遠慮いただいております。



●体調のすぐれない方。



●この3日間に出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)を受けた方。



●海外から帰国(入国)して4週間以内の方。  
(地域・滞在期間によってお願いできない期間が長い場合がございます。)



●24時間以内にインフルエンザなどの予防接種を受けた方。  
(予防接種の種類によっては、お願いできない期間が長い場合がございます。)



●器具を共用してピアスをあけ、6ヶ月間経過しない方(共用していない場合は、1ヵ月後であれば、お願いできます。)



●輸血や臓器の移植を受けたことがある方。



●B型やC型の肝炎ウイルス保有者(キャリア)、エイズ感染の可能性がある方。



●梅毒などの性病、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方。

※上記以外にも当日、医師の判断により献血にご協力頂けない場合がございます。

(連絡先)

埼玉県赤十字血液センター ☎0120-856-933  
http://www.saitama.bc.jrc.or.jp/mobile(携帯用)

Web版QRコード



## 検査成績のお知らせ

■ご希望の方には血液検査の結果や血液型をお知らせします。



けんけつで健康チェックできるっち!

# あなたの健康管理にお役立てください。

○通知を希望された方を対象とし、献血後おおむね2週間程度で郵便にてお知らせします。

### 生化学検査

検査項目	説明
ALT(GPT)	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝(肥満)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。
γ-GTP	肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコール性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1ヵ月位禁酒するとある程度正常化します。
総蛋白 TP	血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。
アルブミン ALB	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。
アルブミン対グロブリン比 A/G	血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にあります。病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。
コレステロール CHOL	血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。
グリコアルブミン GA	糖尿病の検査の一つです。過去約2週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。糖尿病では標準値より上昇します。標準値範囲内でも15.6%以上の場合は注意が必要です。

### 血球計数検査

検査項目	説明
赤血球数 (RBC)	赤血球は血液の主な細胞成分で、酸素を肺から各組織へ運び動きを持っています。
ヘモグロビン量 (Hb)	血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(色素)によるもので、赤血球の動きの中心となっています。
ヘマトクリット値 (Ht)	ヘマトクリット値は、一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものです。
平均赤血球容積 (MCV)	赤血球1個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。
平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)	赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。
平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)	赤血球の一定容積に対するヘモグロビン量の比をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。
白血球数 (WBC)	白血球は細菌などを貪食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっています。細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。
血小板数 (PLT)	血小板は出血を止めるための重要な動きを持ち、この値が極端に減少すると出血を起こしやすくなります。

献血について次の内容をご理解ください

※献血に伴う副作用として、吐き気、めまい、失神などが0.9%、皮下出血が0.2%、神経損傷0.01%の頻度で発生します。

※個人情報や検査結果等は血液センターにおいて厳重に管理されております。

※いただいた血液の一部を用いて、血液型、不規則抗体、ウイルス等の検査を行います。また、血液型や輸血副作用の検査・解析のため、赤血球型、白血球型、血小板型及び血漿蛋白の遺伝子検査を行うことがあります。

※いただいた血液は、輸血用血液として最優先に使用させていただいておりますが、有効性・安全性の向上、または病気の診断・治療や国民の健康状態の改善を目的として、研究開発等に使用することがあります。